

分布図情報



改正地球万国全図

長久保赤水 作 1785 (天明5) 年 101×156cm 木版手彩色

明末清初に中国に在留したイエズス会士によって作られた世界図は、近世初頭の日本人の世界像に大きな影響を与えた。このうち最も大きな影響を与えたのは、イタリア生まれの宣教師マテオ・リッチが、1602 (慶長7) 年に北京で刊行した木版刷りの「坤輿万国全図」である。江戸時代には、わが国でも早くから世界図が作られたが、そのほとんどが「坤輿万国全図」を倣った楕円形の世界図である。なかでも1785 (天明5) 年頃に刊行された水戸藩の儒者長久保赤水 (1717~1801) の「地球万国全図」はその代表的なもので、赤水の名声とともに広く普及し、後々まで模刻された。

(岐阜県図書館蔵)